

「消化器」コースユニット2・3 試験問題

2010年12月3日

1. 血中濃度で個体差が最も小さいのはどれか。

- (a) コレステロール
- (b) アミラーゼ
- (c) ChE
- (d) Na
- (e) Alp

2. 正しいのはどれか。

- (1) 消化管の腸管神経叢が欠損すると食物塊貯留の原因となる。
- (2) ガストリンは主に胃の幽門前庭部に存在する G 細胞から分泌され、胃酸分泌を促進する。
- (3) 慢性消化管出血などは鉄欠乏の原因となり、小球性低色素性貧血となる。
- (4) 食物中の VB12 は、胃の壁細胞より分泌される内因子と結合し空腸で吸収される。
- (5) 胆汁酸は肝細胞で脂肪酸から合成され、胆汁の一成分となる。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

3. 味覚をつかさどる神経はどれか。

- (1) 顔面神経
- (2) 舌咽神経
- (3) 迷走神経
- (4) 副神経
- (5) 舌下神経

(a) 1, 2 (b) 1, 5 (c) 2, 3 (d) 3, 4 (e) 4, 5

4. 下顎骨にみられない構造はどれか。

- (a) 下顎孔

- (b) オトガイ孔
- (c) 翼状突起
- (d) 関節突起
- (e) 筋突起

5. 顎下腺の唾液分泌に関与する神経はどれか。

- (1) 顔面神経
- (2) 舌下神経
- (3) 舌咽神経
- (4) 鼓索神経
- (5) 舌神経

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

6. 50歳の男性。左側顎下部に鶏卵大の無痛性、弾性硬、可動性の腫瘤を触知した。唾液腺造影 CT 検査にて、顎下腺の半月状欠損像と後方圧排像が認められた。疑われる疾患はどれか。

- (a) Sjögren 症候群
- (b) リンパ管腫
- (c) 多形腺腫
- (d) 顎下型がま腫
- (e) 唾石症

7. 咬合不正（咬み合せの異常）を生じる骨折はどれか。

- (1) 下顎骨体部骨折
- (2) 下顎骨関節突起骨折
- (3) 下顎骨筋突起骨折
- (4) 頬骨弓骨折
- (5) Le Fort I 型骨折

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

8. 舌癌について正しいのはどれか。

- (1) 30～40 歳台に多くみられる。
- (2) 舌縁に好発する。
- (3) 組織学的には、扁平上皮癌が多い。
- (4) 遠隔転移では、肺転移が最も多い。
- (5) 放射線治療は有効ではない。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

9. 菌性上顎洞炎について正しいのはどれか。

- (a) 早期から洞壁の破壊が認められる。
- (b) 上顎洞の X 線透過性が亢進する。
- (c) 左右同時に発症することが多い。
- (d) 切歯が原因となることが多い。
- (e) う歯や歯周炎が原因で生じる。

10. 顔面の腫脹をきたす可能性のある疾患はどれか。

- (1) Plummer-Vinson 症候群
- (2) エナメル上皮腫
- (3) 智歯周囲炎
- (4) 顎下腺炎
- (5) 三叉神経痛

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

11. 唾液腺腫瘍について正しいのはどれか。

- (1) 耳下腺腫瘍では悪性が多い。
- (2) 耳下腺良性腫瘍の病理組織は多形腺腫が最も多い。
- (3) 耳下腺腫瘍において顔面神経麻痺を伴うと悪性を疑う。
- (4) 舌下腺癌では痛みを伴う。
- (5) 舌下腺腫瘍では良性が多い。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

1 2. 中咽頭癌について正しいのはどれか。

- (1) 女性に多い。
- (2) 病理組織は腺癌が多い。
- (3) 飲酒とのかかわりが深い。
- (4) 頸部リンパ節転移をきたしやすい。
- (5) パピローマウイルスとのかかわりが深い。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

1 3. 消化管 X 線造影検査法に関して正しいものはどれか。

- (1) 上部消化管の検査の前処置は通常の場合、前日の夕食以後の絶飲食のみでよい。
- (2) 消化管穿孔が疑われる場合には、ヨード系の造影剤を使用する。
- (3) イレウスが疑われる場合には硫酸バリウム系の造影剤を使用する。
- (4) 下部消化管の検査の前処置には、前日の朝・昼・夕食の絶食と緩下剤による排便が必要である。
- (5) 上部・下部とも中心となる撮影方法は充盈法と圧迫法である。

(a) 1, 2 (b) 1, 5 (c) 2, 3 (d) 3, 4 (e) 4, 5

1 4. 左頸部の腫脹を訴えて来院した 60 歳代女性の食道造影写真（別紙）を示す。最も適切な診断はどれか。

- (a) 下咽頭癌
- (b) 頸部食道癌
- (c) 悪性リンパ腫
- (d) 食道潰瘍
- (e) Zenker 憩室

1 5. 空腹時の上腹部痛を訴えて来院した 50 歳代男性の胃 X 線造影写真（別紙）を示す。最も適切な診断はどれか。

- (a) 3 型 胃癌
- (b) 0-IIc+III型 胃癌
- (c) 悪性リンパ腫
- (d) 胃潰瘍
- (e) AGML

16. 下痢と腹痛を訴える 20 歳代女性の注腸 X 線像 (別紙) を示す。最も適切な診断はどれか。

- (a) 潰瘍性大腸炎
- (b) クローン病
- (c) 腸結核
- (d) 虚血性腸炎
- (e) 偽膜性腸炎

17. 食道癌の放射線治療に関して誤っているのはどれか。

- (1) 亜急性期の副作用としては放射線肺臓炎がある。
- (2) 化学療法との同時併用が有効である。
- (3) 根治目的では外照射に加え、腔内照射が必須である。
- (4) 限局期に関しては外科的手術療法の成績に有意に劣っている。
- (5) 欧米では約半数が腺癌である。

- (a) 1, 2 (b) 1, 5 (c) 2, 3 (d) 3, 4 (e) 4, 5

18. 肝細胞癌に対して放射線治療が積極的に行われるのはどのような場合か。

- (a) 肝機能が正常で、2cm の単発肝細胞癌を認める場合
- (b) 重度な肝不全が伴っているために切除が不可能な場合
- (c) 肝細胞癌の門脈塞栓が存在し、他の治療法が困難な場合
- (d) 肝実質内に病巣が多発している場合
- (e) 肉眼的には完全切除されたが、病理標本で腫瘍細胞浸潤が切除断端に近接している場合

19. 消化器癌 (肝・胆・膵) の放射線治療に関して誤っているのはどれか。

- (1) 胆管細胞癌の放射線感受性は比較的高い。
- (2) 肝細胞癌の照射では線量依存的に局所制御率は向上する。
- (3) 胆管癌ではステント留置後に腔内照射を行うことがある。
- (4) 切除不能な局所進行膵癌の5年生存率は1-2%である。
- (5) 膵癌の化学療法ではCDDPが第一選択薬である。

(a) 1, 2 (b) 1, 5 (c) 2, 3 (d) 3, 4 (e) 4, 5

20. 食道癌について正しいものはどれか。

- (a) 欧米では胸部上部食道癌が多い。
- (b) 日本人には腺癌が多い。
- (c) 分化度の高い扁平上皮癌ほど角化に乏しい。
- (d) 上皮内癌でも5年生存率は50%以下である。
- (e) 食道腺癌はBarrett食道や逆流性食道炎と関係がある。

21. 次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (a) 腸管バーチエット病の潰瘍は、S状結腸ないしはその近傍に好発する。
- (b) クロウン病における縦走潰瘍は通常腸間膜付着側にみられる。
- (c) 潰瘍性大腸炎は長期経過例においても、大腸癌の合併はみられない。
- (d) 小腸・大腸にみられる憩室はほとんどが真性憩室である。
- (e) 鎖肛は先天的形成異常であるが、心奇形など合併奇形は通常みられない。

22. 次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (a) カルチノイド腫瘍は内分泌細胞に由来する悪性腫瘍で、通常その発育は急速で悪性度は極めて高い。
- (b) 若年性ポリポーシス (Juvenile polyposis) は、消化管ポリポーシスと皮膚および粘膜に色素沈着を合併する。
- (c) 大腸腺腫が癌化することはまれである。
- (d) 大腸癌は60~70歳代に多く発生し、直腸とS状結腸に好発する。
- (e) gastrointestinal stromal tumor (GIST) は上皮性腫瘍で、その多くはc-kit遺伝子変異を認める。

23. 腸管感染症について、正しいものはどれか。

- (1) 免疫抑制状態では、サイトメガロ腸炎が発症する可能性がある。
- (2) 偽膜性腸炎の薬物治療の第一選択はバンコマイシン経口投与である。
- (3) アメーバ赤痢の確定診断には便培養検査が必須である。
- (4) 回盲部の腸結核は稀である。
- (5) 腸管スピロヘータ症は重症化した後に発見される場合が多い。

(a) 1, 2 (b) 1, 5 (c) 2, 3 (d) 3, 4 (e) 4, 5

24. 潰瘍性大腸炎より Crohn 病に多い合併症を選べ。

- (1) 大量腸出血
- (2) 腸穿孔
- (3) 腸瘻
- (4) 腸狭窄
- (5) 中毒性巨大結腸症

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

25. 大腸癌について正しいのはどれか。

- (a) 早期診断には CA19-9 測定が有用である。
- (b) 低分化型腺癌が多い。
- (c) 潰瘍浸潤型が多い。
- (d) 遠隔臓器への転移では肝転移が多い。
- (e) 早期癌ではリンパ節転移はない。

26. 誤っている組合せはどれか。

- (1) 大腸癌 ————— CEA (癌胎児性抗原) の増加
- (2) Crohn 病 ————— 抗 TNF α 抗体療法
- (3) 潰瘍性大腸炎 ————— 非乾酪性類上皮肉芽腫
- (4) 虚血性大腸炎 ————— 菌交代現象
- (5) 腸管ベーチェット病 ————— 難治性痔瘻

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

27. 吸収不良症候群の原因とならない疾患はどれか。

- (a) 強皮症 (PSS)
- (b) 過敏性腸症候群 (IBS)
- (c) アミロイドーシス
- (d) 悪性リンパ腫
- (e) 胃癌

28. 侵襲に対する生体反応に関して正しい組合せはどれか。

- (1) 生体の恒常性を保つための防御反応である。
- (2) 呼吸、循環機能に変化をもたらすが、代謝、内分泌、免疫などには影響を及ぼさない。
- (3) 侵襲刺激によって産生されるサイトカインは生体反応の最後のステップを担う。
- (4) サイトカインは生体反応時に細胞間の情報伝達を担う物質である。
- (5) サイトカインは少量でも生体反応を引き起こす。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 4, 5 (c) 2, 3, 5 (d) 2, 4, 5 (e) 3, 4, 5

29. 食道表在癌の治療法の選択で正しい組合せはどれか。

- (1) sm癌は早期癌のためリンパ節転移の頻度は低い。
- (2) sm2・sm3癌では根治手術の適応となる。
- (3) m1癌はESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)の適応である。
- (4) m2癌には脈管侵襲が認められるため、根治手術の適応となる。

(a) 1, 2 (b) 1, 3 (c) 1, 4 (d) 2, 3 (e) 3, 4

30. 胃癌治療について、正しい組合せはどれか。

- (1) 腹腔鏡下胃切除術は胃癌治療ガイドラインにおいて標準治療とされていない。
- (2) 進行癌に対する手術では、総肝動脈前面のリンパ節郭清までは行わない。

- (3) 進行癌に対する全摘術の場合、脾摘出術を同時に行うことはまれである。
- (4) 切除不能癌に対する抗癌剤治療の中心は、TS-1 単独療法である。
- (5) 漿膜浸潤＋、リンパ節転移＋の根治術後の標準的な補助化学療法は TS-1 単独療法である。

(a) 1, 2 (b) 1, 5 (c) 2, 3 (d) 3, 4 (e) 4, 5

3 1. 胃癌の術後合併症について誤った組合せものはどれか。

- (1) 神経温存手術では、術後の胆石症の発生頻度を下げる。
- (2) 噴門側胃切除術後の小腸間置再建術は摂取した食物の貯留能保持が主な目的である。
- (3) 逆流性食道炎に対しては、逆流防止のための再手術が第一選択である。
- (4) 早期ダンピングの症状は低血糖に起因するものが多い。
- (5) 胃切除後に、鉄欠乏性貧血をしばしば認めることがある。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

3 2. Crohn 病について正しい組合せはどれか。

- (1) Crohn 病での小腸縦走潰瘍は腸間膜付着部対側に発生する。
- (2) Crohn 病に合併する難治性痔瘻に対する術式に seton 法がある。
- (3) Crohn 病に対する手術療法は根治的な意味をもたず、再発率も高い。
- (4) Crohn 病は食道から肛門までのすべての消化管に発生する。
- (5) Crohn 病の腸管穿孔に対しては、stricture plasty がよく行われる。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

3 3. 潰瘍性大腸炎について正しい組合せはどれか。

- (1) 大腸全摘、回腸瘻造設術は、二期的に行われることが多い。
- (2) 中毒性巨大結腸は、緊急手術の適応である。
- (3) 結腸全摘、回腸直腸吻合術 (IRA) は、再発、癌化の可能性を残す。
- (4) 潰瘍性大腸炎は癌化するため、診断が確定したら外科手術が第一選択である。

(a) 1, 3, 4 のみ (b) 1, 2 のみ (c) 2, 3 のみ (d) 4 のみ (e) 1~4 のすべて

34. 大腸癌について正しい組合せはどれか。

- (1) 早期下部直腸癌では、経肛門的、経括約筋的、経仙骨的腫瘍摘除術も適応となる。
- (2) 結腸癌、直腸癌ともに SCC は有用な腫瘍マーカーである。
- (3) 家族性大腸ポリポーシスでは約 70% が癌化する。
- (4) 肝転移、肺転移の頻度は結腸癌と直腸癌との間に差が認められる。
- (5) 術前の放射線療法は直腸癌術後の局所再発の頻度を下げる。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

35. 肛門疾患について正しい組合せはどれか。

- (1) 痔瘻は保存的に治癒は望めず、手術適応である。
- (2) 肛門周囲膿瘍は肛門陰窩より細菌が侵入し発生することが多い。
- (3) 内痔核は齒状線の肛門側に発生する。
- (4) 脱肛が増悪すると直腸脱になる。
- (5) 裂肛は肛門管後壁に発生することが多い。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 3, 4 (d) 2, 4, 5 (e) 3, 4, 5

36. 食道疾患に関する次の記述のうち正しい組み合わせはどれか。

- (1) GERD の原因としては下部食道括約筋（帯）の弛緩不全が多い。
- (2) T1aN1M0 の食道癌は早期食道癌であり ESD の適応である。
- (3) 食道癌の好発部位は胸部中部食道（Mt）である。
- (4) 食道閉鎖の形態として最も多いのは Gross の C 型である。
- (5) アカラシアの治療として食道バルーン拡張術が有効である。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

37. 胃疾患に関する次の記述のうち誤っている組み合わせはどれか。

- (1) 出血性胃潰瘍のほとんどは、内視鏡的止血術が有効である。
- (2) GIST の治療として抗 EGFR モノクローナル抗体が有効である。

- (3) 早期胃癌はⅡa型が最も多い。
- (4) FD (Functional Dyspepsia)には胃潰瘍を合併することが多い。
- (5) 胃底腺ポリープは胃底腺領域に好発・多発し、女性に多い。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

38. 胃疾患に関する次の記述のうち誤っている組み合わせはどれか。

- (1) 15mm のⅡa 型早期胃癌 (分化型腺癌) は ESD の適応である。
- (2) 胃癌の Douglas 窩転移を Schnitzler 転移という。
- (3) 慢性胃炎の内視鏡的分類として Los Angeles 分類がある。
- (4) 良性胃潰瘍の所見として、集中襞の途絶・棍棒状太まり・癒合像や、潰瘍辺縁虫くい像があげられる。
- (5) 血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP) の治療として *H. pylori* の除菌が保険収載された。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

39. 次のうちで正しい組み合わせはどれか。

- (1) 消化管炎・消化性潰瘍の成因—NSAIDs。
- (2) 食道腺癌の発生母地—Barrett 食道
- (3) 胃悪性リンパ腫と関連—胃アニサキス症
- (4) EIS が有効—Mallory-Weiss 症候群
- (5) PPI (プロトンポンプインヒビター) の作用—酸分泌抑制。

(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

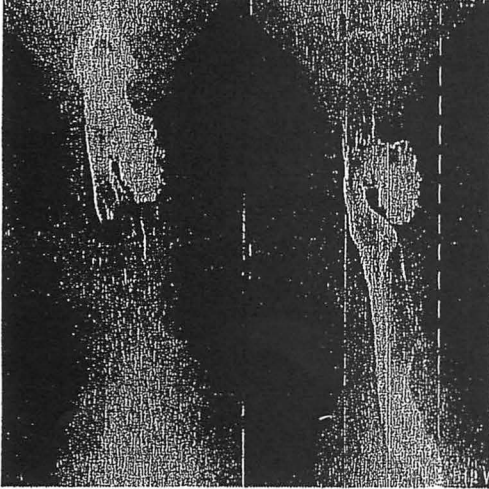
40. 次のうちで正しい組み合わせはどれか。

- (1) B-RT0—孤立性胃静脈瘤
- (2) “double-bubble” sign—先天性十二指腸閉鎖
- (3) Rokitansky 憩室—真性憩室
- (4) ECL 細胞—内因子の産生・分泌
- (5) びまん浸潤型進行胃癌—1型胃癌

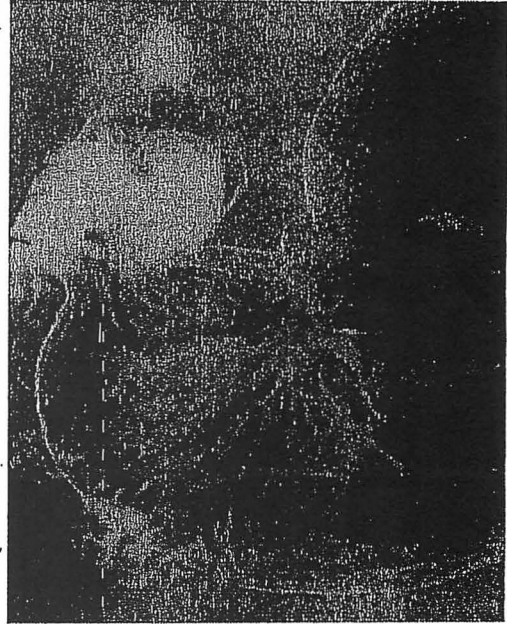
(a) 1, 2, 3 (b) 1, 2, 5 (c) 1, 4, 5 (d) 2, 3, 4 (e) 3, 4, 5

<別紙>

14.



15.



16.

